

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第9週の発生動向

・重症熱性血小板減少症候群 (S F T S) (全数把握対象) の報告が宮崎市保健所から 1 例あった。県内での報告は 10 例目となった。発症は 2 月中旬。80 歳代女性、ダニの刺し口はなく、海外渡航歴もなかった。

・定点医療機関からの報告総数は 3,090 人 (定点あたり 63.1) で、前週比 106% と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと RS ウイルス感染症で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

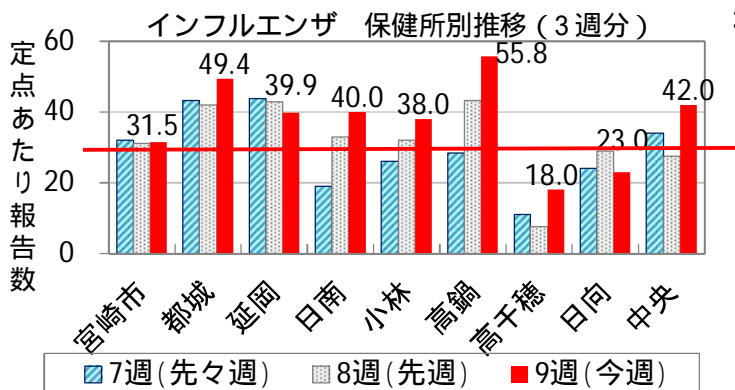
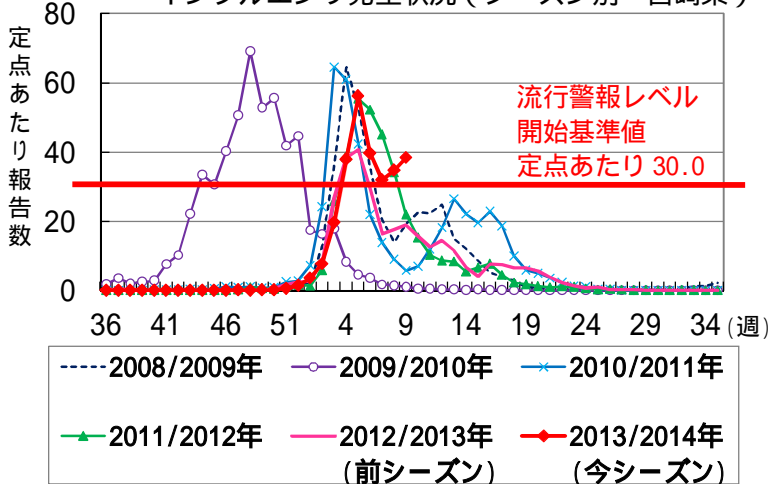
インフルエンザ・小児科定点からの報告

【インフルエンザ】

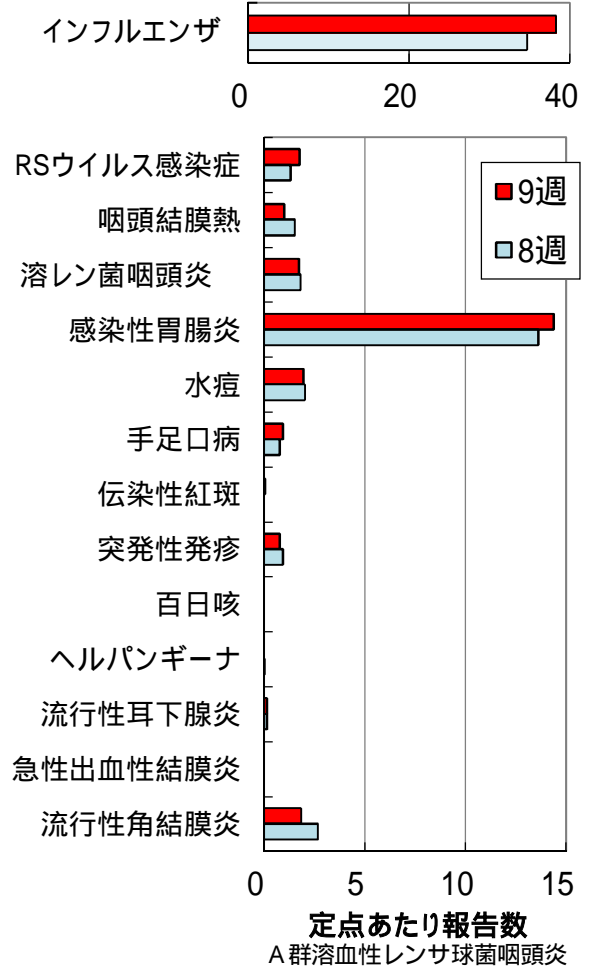
・報告数は 2,260 人 (38.3) で前週比 110% と 2 週続けて増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (13.6) の約 2.8 倍である。高鍋 (55.8)、都城 (49.4) 保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 30%、6 ~ 9 歳が 31%、10 ~ 14 歳が 21%、15 ~ 19 歳が 3%、20 歳代 ~ 50 歳代が 12%、60 歳以上が 3% を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

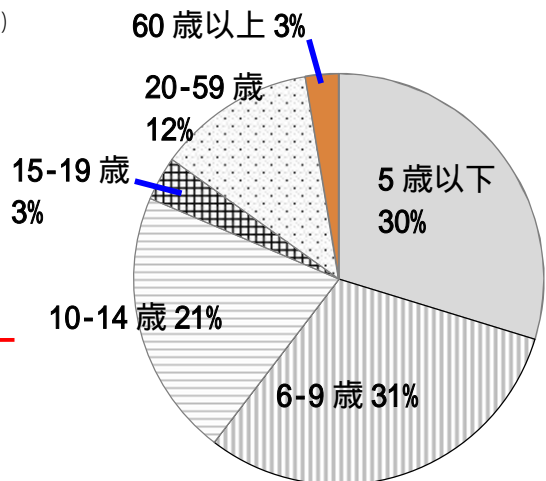
インフルエンザ発生状況 (シーズン別・宮崎県)



(前週との比較)

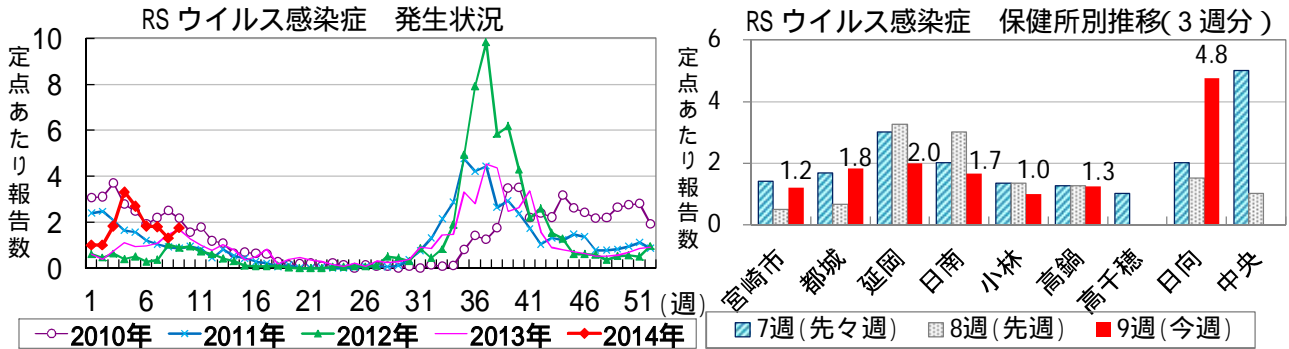


インフルエンザ年齢群別割合



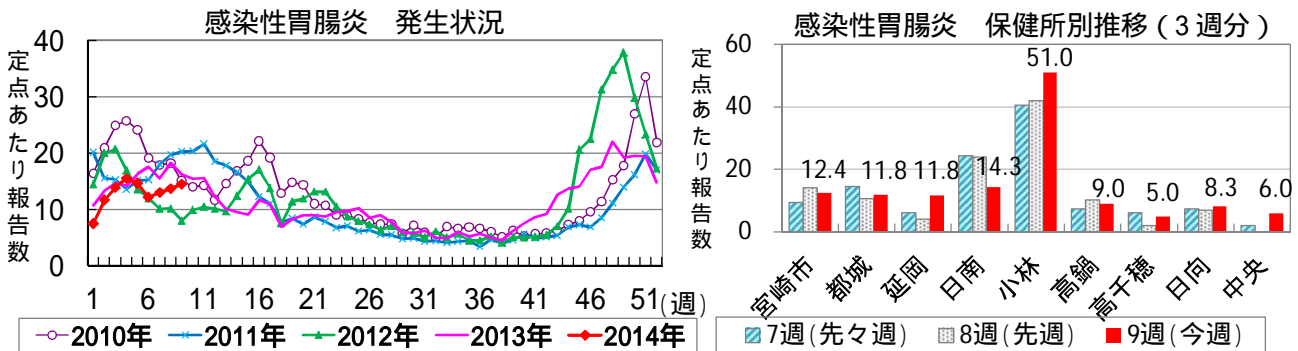
【RS ウイルス感染症】

・報告数は63人(1.8)で前週比134%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.1)の約1.6倍である。日向(4.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の約8割を占めた。



【感染性胃腸炎】

・報告数は518人(14.4)で前週比106%と3週続けて増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(14.7)と同程度である。小林(51.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から5歳が全体の約半数を占めた。



基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎：都城保健所管内から1人報告された。患者は月齢2ヶ月で Respiratory syncytial virus が検出された。

マイコプラズマ肺炎：日南保健所管内から1人報告された。患者は50歳代。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(31.5)
都城	インフルエンザ(49.4)
延岡	インフルエンザ(39.9)
日南	インフルエンザ(40.0)
小林	インフルエンザ(38.0)、感染性胃腸炎(51.0)
高鍋	インフルエンザ(55.8)
高千穂	咽頭結膜熱(3.0)
日向	なし
中央	インフルエンザ(42.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

全数把握対象疾患(9週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 4 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： A 型肝炎 2 例、重症熱性血小板減少症候群 1 例。

5類感染症：急性脳炎1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	40歳代	疑似症患者	咳、痰
		日南	70歳代	肺結核及びその他の結核 (左結核性胸膜炎)	咳、痰、発熱、胸痛
		小林	10歳代	疑似症患者	なし
		日向	30歳代	無症状病原体保有者	-
4類	A型肝炎	宮崎市	20歳代	患者	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝腫大
		宮崎市	60歳代	患者	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝腫大、 肝機能異常
	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80歳代	患者	発熱、頭痛、神経症状、食欲不振、 血小板減少、白血球減少
5類	急性脳炎	宮崎市	80歳代	インフルエンザウイルスB	発熱、痙攣、意識障害
	侵襲性肺炎球菌感染症	日南	60歳代	患者	肺炎

全国第8週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は39.5で、前週比100%と横ばいであった。今週増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は135,579人(27.4)で、前週比97%と横ばいであった。大分県(49.3)、福井県(43.2)、福岡県(42.9)からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の26%、6~9歳が29%、10~14歳が19%、15~19歳が3%、20歳代~50歳代が19%、60歳以上が4%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は6,722人(2.1)で、前週比122%と増加した。山形県(6.6)、新潟県(5.6)、富山県(4.7)からの報告が多く、年齢別では4歳から7歳が全体の約半数を占めた。

全数把握対象疾患(全国第8週)

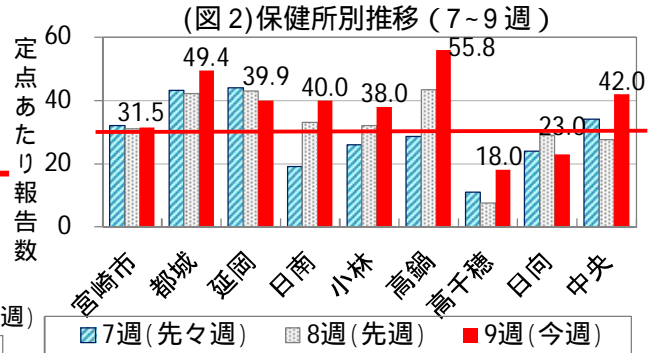
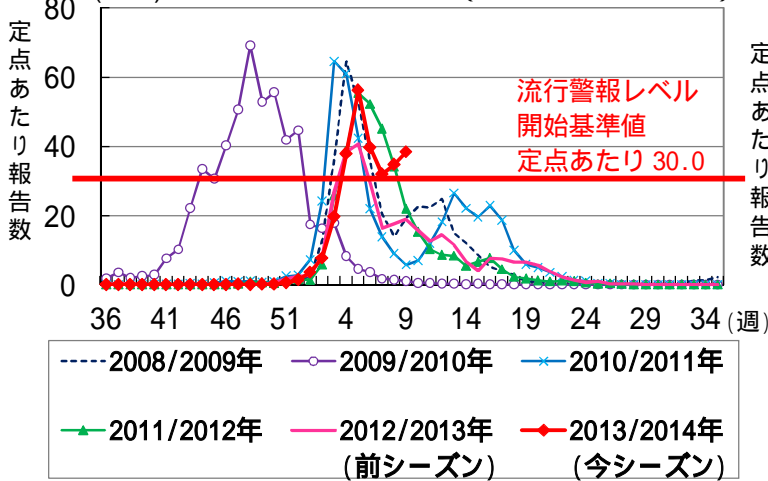
1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	355例			
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	6例	
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	15例	つつが虫病 2例
	デング熱	3例	日本紅斑熱	3例	マラリア 2例
	レジオネラ症	21例			
5類感染症	アメーバ赤痢	10例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎 2例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群 15例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	20例	梅毒 16例
	破傷風	1例	風しん	12例	麻しん 12例

インフルエンザ情報《県内第9週、全国第8週（再掲）》

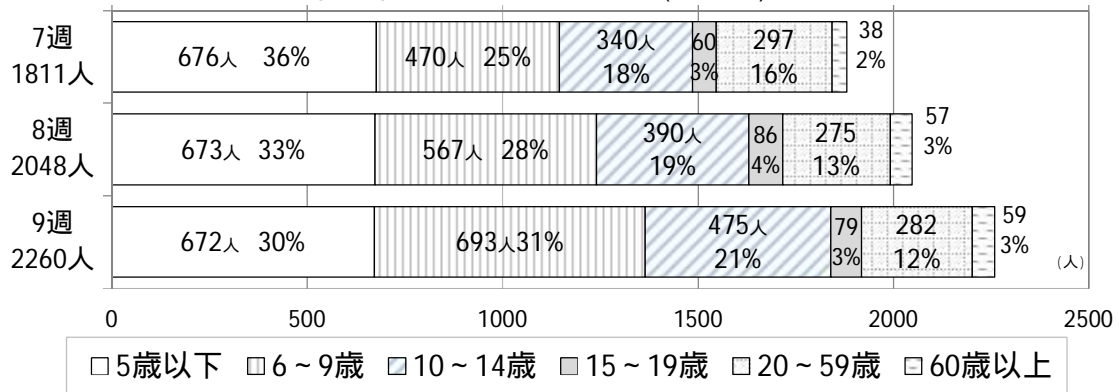
県内第9週インフルエンザ発生動向

平成26年2月24日～3月2日までの1週間で2,260人（定点あたり38.3）の報告があり、前週の約1.1倍と2週続けて増加した(図1)。例年同時期の定点あたり平均値(13.6)の約2.8倍である。保健所別報告数の推移を(図2)、年齢群別報告数の推移を(図3)に示す。

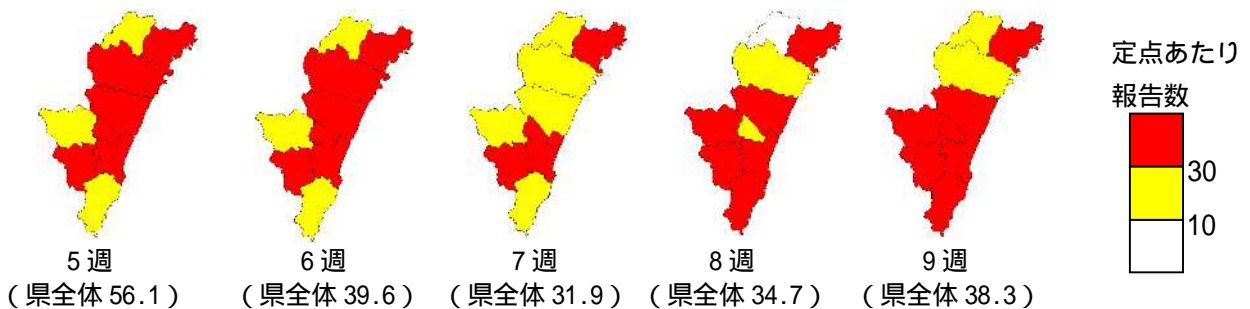
(図1)インフルエンザ発生状況(シーズン別・宮崎県)



(図3)年齢群別報告数の推移(7~9週)



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2014年 第5~9週



全国第8週インフルエンザ発生動向

平成26年2月17日～2月23日までの1週間で135,579人（定点あたり27.4）があり、前週比97%と横ばいであった。大分県(49.3)、福井県(43.2)、福岡県(42.9)からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の26%、6~9歳が29%、10~14歳が19%、15~19歳が3%、20歳代~50歳代が19%、60歳以上が4%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第09週(02月24日～03月02日)

疾病名		第8週	第9週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2048	2260	504	494	279	200	190	335	36	138	84
	定点あたり	34.71	38.31	31.50	49.40	39.86	40.00	38.00	55.83	18.00	23.00	42.00
RSウイルス 感染症	報告数	47	63	12	11	8	5	3	5		19	
	定点あたり	1.31	1.75	1.20	1.83	2.00	1.67	1.00	1.25	0.00	4.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	55	36	22	1	4	4		1	3	1	
	定点あたり	1.53	1.00	2.20	0.17	1.00	1.33	0.00	0.25	3.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	65	62	6	8	18	3	2	6	2	14	3
	定点あたり	1.81	1.72	0.60	1.33	4.50	1.00	0.67	1.50	2.00	3.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	490	518	124	71	47	43	153	36	5	33	6
	定点あたり	13.61	14.39	12.40	11.83	11.75	14.33	51.00	9.00	5.00	8.25	6.00
水痘	報告数	73	70	21	25		13	5	3		3	
	定点あたり	2.03	1.94	2.10	4.17	0.00	4.33	1.67	0.75	0.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	28	33	14	1		7	3	6		1	1
	定点あたり	0.78	0.92	1.40	0.17	0.00	2.33	1.00	1.50	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数		2	2								
	定点あたり	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	28	10	1	7	2	2	3		3	
	定点あたり	0.92	0.78	1.00	0.17	1.75	0.67	0.67	0.75	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	5		1	1	1				2	
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.17	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	11	10		1						
	定点あたり	2.67	1.83	3.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～9週)

2類感染症	結核	26例(4)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	A型肝炎	4例(2)	重症熱性血小板減少症候群	2例(1)	つつが虫病
	レジオネラ症	1例			5例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症
	梅毒	2例	破傷風	1例	麻しん

()内は今週届出分、再掲